

特別講演 2

「地域における心不全患者管理の問題点

～心不全地域ネットワークの必要性～

医療法人竹谷クリニック理事長

大阪心不全地域医療連携の会代表幹事

竹谷 哲 先生

循環器病領域の医療の進歩は目覚ましく、特に心不全領域では新しい治療薬も登場しています。一方、心不全は管理が難しく、再入院率が高いとされています。これらの問題に対応するには地域全体で診療情報、患者教育、評価方法の標準化を進め、急性期病院を退院した患者さんが安心して在宅療養できる体制づくりが必要です。大阪市北東部エリアでは2017年より「大阪心不全地域医療連携の会」が活動しています。Osaka Stops HEart Failure = OSHEF(オーシェフ)を合言葉とし、患者支援ツールである「ハートノート」と、自己管理ツールである「心不全ポイント自己管理用紙」を使用することにより日常生活レベルの維持を目指しています。循環器領域では大都市圏での広域・複数の中核病院が賛同する地域医療連携は運用されにくいのが実情で、本会の活動は循環器領域での新しい取り組みとなります。今回は本会の取り組みを通じて心不全地域ネットワークの必要性について論じたいと思います。